

## 市民活動&NPOのヒント

### 仲間 参加できる活動を探したい!活動の仲間を増したい!

あなたが参加してみたい活動を探すには、市民活動団体紹介冊子「まちづくりの仲間を見つけるガイドブック」がオススメ。気になる活動を見つけたら気軽に問合せをしてみよう。また、活動を行っている方は、仲間やスタッフの確保が大事。少しでも多くの方に関わりを持ってもらうため、活動を伝えていくことを考えてみよう。



二次元コード  
からご覧  
頂けます



### 場所 無料で使える活動スペースはある?

会合やミーティングには、掛川市役所生涯学習テラスをはじめ、無料で利用できる活動スペースを有効活用してみよう。情報コーナーでは他の団体の活動も参考に。予約なしで利用できますので、積極的に活用してみよう。



- ◆掛川市役所生涯学習テラス 8:30~17:15(土日祝休)  
住所:掛川市長谷1-1-1 TEL:0537-21-1129(掛川市生涯学習協働推進課)
- ◆大東市民交流センター 市民活動スペース・談話コーナー 9:00~18:00(火・年末年始休)  
住所:掛川市三俣620(大東支所3F) TEL:0537-72-1115
- ◆大須賀市民交流センター 市民活動スペース・談話コーナー 9:00~18:00(火・年末年始休)  
住所:掛川市西大淵100(大須賀支所2F) TEL:0537-48-1002
- ◆…事前に団体登録が必要です。

### お金 活動の資金はどうすればいい?

市民活動団体にとって大きな課題のひとつが資金の確保。活動では様々な経費が必要となり、常に気を配らなくてはなりません。市民活動の資金調達には「会費」「寄付」「クラウドファンディング」「助成金」「補助金」「事業収益」などがあります。これらの資金にはそれぞれ利用する上で特徴があり、事業の目的とこれらの資金の特性を照らし合わせて、複数の資金を組み合わせることによって、事業や団体運営を行っています。

#### 【参考】

助成事業の情報は  
HPをチェック!

掛川市まちづくり  
協働センター  
・補助金情報  
・講座情報

ふじのくに未来財団  
・寄付情報  
・助成金情報  
・研修会・イベント情報

静岡県ボランティア協会  
・助成金情報  
・講座・セミナー情報  
・ボランティア募集情報

CANPAN(日本財団)  
・助成金情報  
・団体情報掲載  
・ブログ作成

### NPO法人のメリット&デメリット

活動団体をNPO法人にすることでメリットもありますが、同時に大変になることもあります。

#### メリット

- ・団体の活動が明確になり、社会的な信用を得やすくなる。
- ・契約の主体が団体になり、各種契約(委託、賃貸借等)をすることができる。
- ・税制上の優遇が受けられる。

#### デメリット

- ・経理をはじめ、毎年の事業報告及び各申請書や届け出など、厳正な事務処理が必要になる。
- ・資産状況や事業内容など、団体の情報が開示される。
- ・事業内容、計画の変更など一定の手続きが必要となり、素早い意思決定ができないこともある。

	契約	財産所有	報告義務	登記	情報公開
NPO(任意団体)	代表者個人	代表者個人	なし	不要	公開義務なし
NPO法人	法人	法人	報告書等提出義務	必要	公開義務あり

NPO法人について詳しく知りたい方は「ふじのくにNPO支援センター」のHPをチェック!

お問合せ先

発行:掛川市まちづくり協働センター(掛川市生涯学習協働推進課 協働推進室内)  
TEL: 0537-21-1129 FAX: 0537-21-1165

あなたが輝くと、  
地域も輝く

あなたの夢、  
描いたつづきは  
掛川で。



# 市民活動

# はじめのイ・ロ・ハ

Start up NPO GUIDE BOOK

あなたの「やってみたい!」は、  
まちの「困った」を解決するプロジェクトかもしれません  
市民活動を知って、触れて、あなたのまちをぐっと身近にしよう!

# はじめてみよう市民活動&NPO

あなたの「やってみたい!」はまちの課題を解決するプロジェクトかもしれません。「想い」を「カタチ」にしたい人。まずは一步踏み出してみよう。

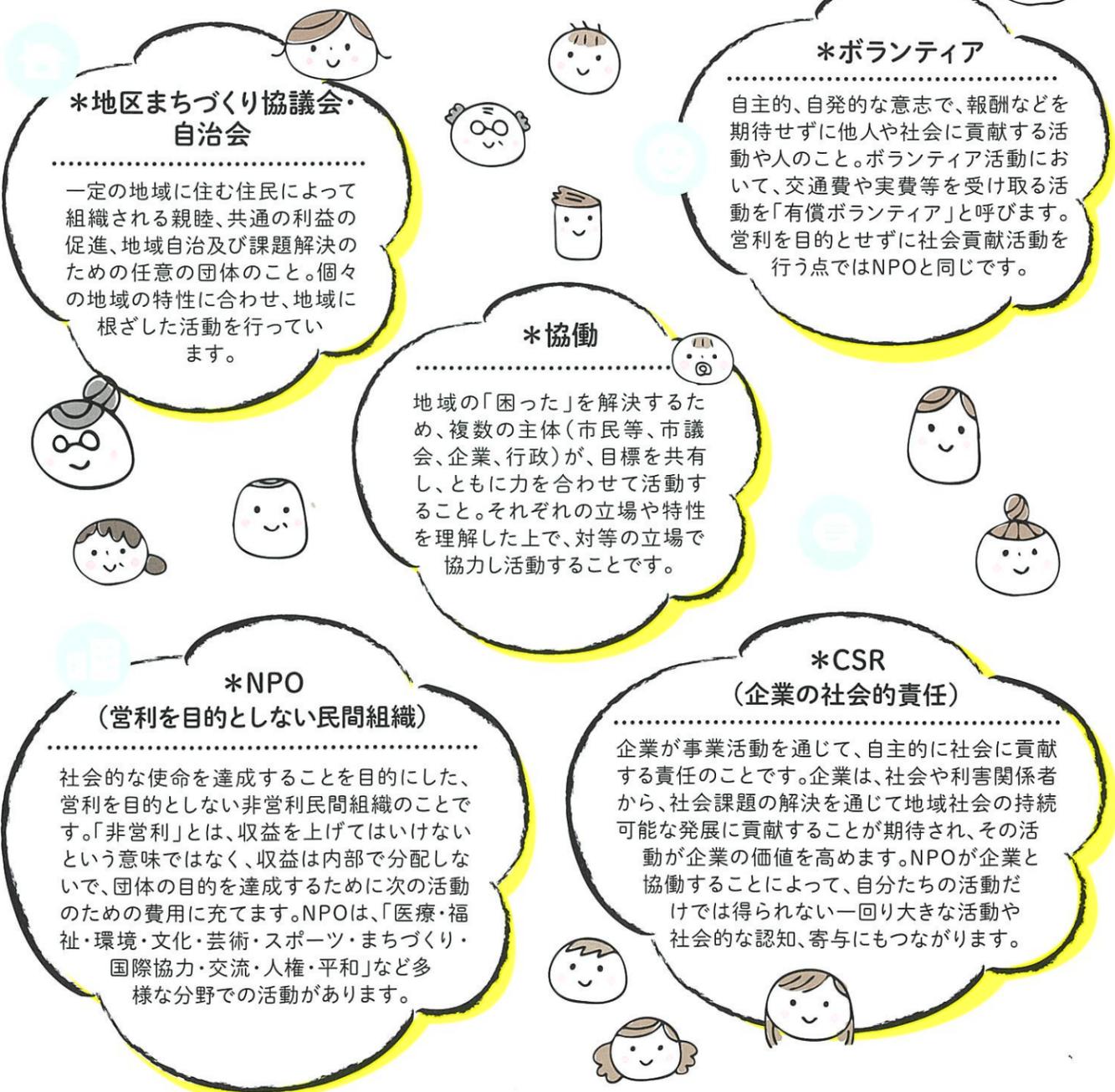


あなたの身近な取り組みが、市民活動&NPOの第一歩。さあ、活動をはじめよう。

地域のママ達が気軽に悩みを話しながら、親子で楽しめるマルシェイベントを開催してみたいAさんの場合

## あなたの身近な、いろいろな活動

## 「市民活動」のキーワードあれこれ



- STEP 1** 身の回りを見てみよう  
**地域の「困った」を発見!**
- POINT** あなたの家族や地域など身の回りの「困った」はありますか? 「困った」=「課題」を見つけたら、自分ゴトとして考えることが大事。どんな地域が理想か、そのために自分はどんなことができるかを考えよう。
- STEP 2** どんな取り組みもまずはここから!  
**仲間集め&声かけ**
- POINT** まずは、仲間集めが最初の一步。最初は2人や3人からOK。あなたの「やってみたい!」に共感や協力してくれる人がどれだけいるかが成功の秘訣です。
- STEP 3** イベントの骨子を決めましょう  
**何を、どこで、いつやる?**
- POINT** 出店する人、来場者など、活動に関わる人たちが楽しむ姿をイメージしよう。イベントの会場探し(雨天の場合も考えよう)や日時、イベントの内容などを話し合ってみよう。
- STEP 4** お金のことも考えよう。  
**イベントにあたっての収支も大事!**
- POINT** 売り上げに加えて、会員による会費、共感した方からの寄付や協賛金など、資金調達の方法は様々。かかる経費などの支出を想定し、収支を計算するのを忘れずに。
- STEP 5** たくさんの人に  
来てもらうために!  
**告知・PRのススメ**
- POINT** チラシを配布する、HPをつくる、SNSを使ってPRするなど活動を広げるための広報をしよう。地域の新聞社(支局)などへの取材依頼も忘れずに。
- STEP 6** イベントの開催後が大事。  
**活動を継続していくために**
- POINT** あなたの「やってみたい!」の実現ができたから、ぜひ反省点や良かったことを踏まえて次のステップへ。もっと楽しめることを発見、仲間と相談し活動を続けていこう。

**JUMP** 今後の法人化も視野に入れてみよう!  
**新たな団体の「カタチ」探し**

活動を定期的に続けるためには、安定した組織運営が必要になることも。法人化をすることで、団体として財産を持ったり契約したりすることもできるようになります。法人には、NPO法人、一般社団法人、一般財団法人など種類も様々です。まちづくり協働センターに相談したり、仲間とよく話し合っ、自分たちの活動に合った「カタチ」を見つけよう。